

ドナルド W フラッド／米国人の元キリスト教徒（4/4）

:

明:
「ルレットの推」が、いかにこの元ラスベガス市民をムスリムにしたか。第四部：意味深なビデオテープと、改宗への熟考。

目: [事新改宗者ムスリムの逸男性](#)

より: ドナルド W フラッド

日 07 Oct 2013

集日 07 Oct 2013

障害の克服

この点で、私は8割方ムスリムになりたいと感じていましたが、何かがそれを妨げていました。それは、私がムスリムになったと知ったときの家族や友人たちの反への心配でした。この念をあるムスリムに告げると、彼はこう教えてくれました。「判の日、あなたのや友人たちは一人としてあなたを助けることは出来ないのですよ。それゆえ、もしあなたがイスラムを真の宗教と信じているのなら、あなたはそれを受け入れ、あなたを造した御方のご悦を得るような生き方をしなければならぬのです。」こうして、あらゆる魂は死を味わわねばならず、神への信仰や世での行いについて任をわれるため、私たちは皆、同じ境遇にあるのだということが明白になりました。

意味深なビデオテープ

その点で、私はイスラムを受け入れる直前まで来ていました。私は人生の目的について、あるイスラム座のビデオテープをみました。この座の主は、人生の目的は「イスラム（神の御意への依）」という一言で要することが出来るというものでした。

ビデオテープをみると、真が明らかになったと直感しました。私の肩から巨大な罪の重荷が降りた感じがしました。また、私の魂が地上を離れ、永久の喜のために世の束の間の喜びを拒否する感にとらわれました。このことは、かつて理屈の程と合わせて、「人生というパズル」を解いたのです。それはイスラムが真であることを解明し、私の「精神的景」を信仰、目的、方向性、そして行によってたしました。こうして私はムスリムになるために要求される信仰宣言「

アシュハドゥ アッラ イラ ハ イッラッラ 、ワ アシュハドゥ アンナ ムハンマダッラ スルッラ

(私は唯一なる神以外の神はなく、ムハンマドは神の使徒であることを言する。)

をすることによって、イスラムの扉をくぐったのです。この礼的宣言は、すべての言者使徒たちへの信仰と共に、神のすべての(元来の形での)示への信仰を自らするものであることから、それを通して最の言者(ムハンマド)と神の最示(クルアーン)にする信仰を更新し、自らの宗教を完成させるものだという事を教わりました。また次の点は、私にとってとてつもなく明なものとなりました。それはつまり、もしイエスが神の最の言者で、福音が最の示だったのであれば、私はそれを言したであろうということです。果的には、私は自然と言者の封なる者によって模とされた、造主の最示をんだのです。

新ムスリムの印象

真探求の程において、最も教となったこととしては、神以外の崇の象はすべて虚にぎないものであるということでした。このことを明瞭に捉えることの出来る人にとってすべき唯一の道とは、自らの意思と行を、造主のそれと和させることでしょう。神の御意にうことは、私が造主、他者、そして自分自身にして安を感じることを可能とさせました。また、神のご慈悲によって知のから救出され、真という光の中に足を踏み入れることができたということに感せずにはいられなくなりました。あらゆる所に居る真の宗教であるイスラムは、人の世における存在目的をたすことのできるようなく、人生の完全なるであり、人が造主へとりゆく日のためのをさせるものです。この道に真にうことは、神のご悦と、での神の元における永久なる悦、そして火におけるからの回避を可能とさせるのです。もう一つのボナスとしては、そうしたをするこ

